

愛媛若葉ひろみ句会

紋白蝶幼なき頃に覚えし名

大川 眺春

さくらさくらさくらさくらさくらや空の青

毛利 敦

花の鐘一打の余韻全山に

梶原 一美

蝶々の睦みて風に遊びをり

松岡 寛孝

ふらここやも一度しよ初はぐう

伊藤 京

青い海青い空なりしやぼん玉

高橋 妙

花通草田舎育ちの元気妻

福本 恵子

共に生き共に歩みて花は葉に

浜田 千鶴

かろやかに二つの蝶の川渡り

増田とみ子

春風を袖に受け舞ふ里神楽

松浦 亀

蝶二つささやくように飛び交ひて

高田 弘子

昨日より今日の明るき芽吹き

芝 都瑠

何一つ動くものなし夜明け前木々も野菜も息潜めおり

佐々木登美子

御開山の梅の蕾は固けれど桜と共に花見するなり

兵田トミニ

大気汚染黄砂も恐し干し物は部屋干しせむと思ふ日多き

高田 治子

難病で再発恐れ苦しみと戦う我に励す便り

伊手リツエ

其処ここに春の息吹を味わいて心いやされ土手を歩みぬ

二宮 安恵

白梅に寄り添う様に紅梅の色鮮やかに香りただよふ

芝 幸子

福まねく氏神様のお守りを子等の受けきて床の間に置く

山本まつゑ

さり島の赤さかたへに水仙の黄なる花映え春は深みぬ

松崎 静香

今日限り筆持つ汝との別れなり書道の塾も今月限り

蛭谷 寿子

わが園の広きめぐりを咲き揃い今満開に桜さかりなり

渡辺喜代子

百年を経たる酒蔵下萌ゆる母校の下に今も栄えて

武田 幸子

広見短歌会

Andrew's Story 【No.1】 「Impressions of Japan」

新学期が始まりました。学校に行って子ども達を見ていると、自分が学校生活の中で経験した嬉しかったことや辛かったことなどをよく思い出します。

日本とアメリカの学校生活を比べると、いろいろな面白い違いがあります。たとえば、日本の小学校では、担任の先生がいて、さらに教科ごとに異なった先生が生徒を教えています。アメリカの小学校では、どんな教科でも1年間、同じ先生が教えています。

また、授業の時間も細かくは決められていません。教える内容に条件はありますが、生徒によって

1つのことを覚えるまでに時間のかかる子、そんなにかからない子とさまざまなので、特に授業時間は決められていないのです。

さらに、小学校よりも中学校のほうが、アメリカとの違いをより強く感じています。教科によって専門の先生が教えるという点では、アメリカの中学校も日本と同じです。しかし、同じ学年の中でも、生徒の能力は異なるため、普通の授業を受ける子どもがいる一方で、さらに進んだ上級レベルの授業を受ける子どももいるのです。

この広い世界、いろいろな教育方法や考え方がありますね。



鬼北町外国語指導助手
通称：アンディ
アメリカ合衆国アリゾナ州出身
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。